



1月の園だより

学校法人志賀学園
松の実こども園
令和7年1月8日

明けましておめでとうございます。

一年の計は元旦にあり。皆様、志をもって新年を迎えられたことと思います。昔から、元旦には「年神様」という新年の神様が、1年の幸福をもたらすために各家庭にやってきて、人々に健康や幸福を授けるとされています。そこで、年神様へお供えする「おせち料理」には、五穀豊穰、子孫繁栄、家内安全、無病息災、長寿などの祈りを込めて、縁起の良い海の幸、山の幸を豊富に盛り込みました。そして、7日にはお正月の祝膳や祝酒で弱った胃を休めるために春の七草（ごぎょう・はこべら・ほとけのぎ・すずな・すずしろ・せり・なずな）入りの七草がゆをいただきます。また、11日の鏡開き（園では10日）には、お供えしていた鏡餅を子どもたちと小槌で叩いて開き（切る・割るは縁起が良くない言葉なので）、揚げ餅にしてください、家庭円満・無病息災を願います。

さて、志賀学園では1月6日に全職員による初顔合わせがありました。そこで、理事長先生より令和7年度の教育・保育方針として、「こどもたちのあそびを深める保育をしよう」と、スローガンが掲げられました。昨年度は、「こどもたちが好きなこと・ものに出会える園になろう」と掲げられ、そのような保育の提供を心掛けて参りましたので、これからは、よりこどもたち自身が遊びを深めていけるような環境を整えていくことの大切さが伝えられました。それには、こども一人ひとりに丁寧に関わり、今何に興味や関心を示しているのかを感じとりながら、必要とされる材料や環境を整え、先生も一緒にこどもたちと楽しみながらあそびを深めていくようにとのお話がありました。また引き続き『躰の三原則』、挨拶・ハイのお返事・履物を揃え、席を立ったら椅子を中に入れる・立腰（正しい姿勢）を、優しく丁寧に、できないからと言って厳しくならず、毎日の生活の中で繰り返し繰り返し根気強く行っていくこと。そして、こどもたちが安心・安全に生活できますよう、健康管理に留意しながら、安全確保（出欠・人数確認、園バス・遊具の点検、避難訓練など）を心掛けて参ります。

1月17日(金)と21日(火)に自由保育参観があります。日本の伝統的なお正月遊びを制作し親しんだり、常日頃から楽しんでいる玩具や遊具での遊びを通して、お友だちと触れ合っている様子をご覧いただければと思います。

3学期は一年の締めくくりであり総仕上げの時期です。流行している病気などの感染拡大状況を把握しながら健康管理に留意し、子どもたちにとって園生活が楽しいものとなりますよう、職員一同精いっぱい努めて参りますので宜しくお願い致します。

うんてい

🌸 園庭に安田式遊具(雲梯)が設置されました 🌸

鉄棒・平均台・吊り輪に引き続き、安田式の雲梯が設置されました。担当の富田先生より、遊び方の説明をいただき、子どもたちは興味津々で意欲的に取り組んでいました。年齢や発達に応じて小・中・大と段階的にできるようになっていて、腕力や挑戦力、バランス感覚も養われますね……。引き続き、朝の体操やかけっこ、平均台渡りや鉄棒などと共に、健やかな心と体作りにつなげて参ります。ぶ～らん、ぶ～らん、体を揺らしながら柔軟にあそんでいきましょう！！たくさん遊んだお友だちはがんばりまめができるそうですよ。





お外で遊んだ後は、ホールでじゃんけんゲームやマット運動をしていただきました。



★こどもたちが、怪我や事故に遭わず楽しく遊べますように…🙏★

みんなでお祈りをしながら、雲梯に松の実こども園のプレートを貼りました。

🐻 理事長先生・富田先生、ありがとうございました 🐻